

概要

- 自動車分野のカーボンニュートラルの実現に向けて、電気自動車、燃料電池自動車など次世代の事業用自動車の普及促進のため、地域の計画と連携して、環境に優しい自動車の集中的導入や買い替えの促進を支援する。

- ・ 事業用自動車(バス、タクシー、トラック等)は、自家用車に比べて1台当たりの走行距離が大きく使用年数も長いことから、次世代自動車への積極的な代替が重要。
- ・ 事業用自動車は、それぞれの使用方法に適した次世代自動車の開発と普及の促進が重要。

- ✓ 地域の計画と連携した次世代の事業用自動車の導入を支援
- ✓ 普及と車両価格の低減に応じて、補助額を段階的に設定

|      | 【 第 I 段階 】   | 【 第 II 段階 】   | 【 第 III 段階 】   |
|------|--|---|--|
| 概要   | 市場に導入された初期段階で、価格高騰期にあり、積極的な支援が必要   | 車種ラインナップが充実し競争が生まれ、通常車両との価格差が低減   | 通常車両との価格差がさらに低減し、本格的普及の初期段階に到達   |
| 補助上限 | 車両・充電設備等価格の1/3<br>又は通常車両との差額の2/3   | 車両・充電設備等価格の1/4~1/6  | 通常車両との差額の1/3   |
| 対象車両 | 燃料電池タクシー、電気バス、プラグインハイブリッドバス<br> | 電気タクシー、電気トラック(バン)、プラグインハイブリッドタクシー<br> | ハイブリッドバス、天然ガスバス、ハイブリッドトラック、天然ガストラック<br> |

地域・事業ごとに最適な次世代自動車の導入

自動車メーカーによる開発の促進